

学生支える特待制度が充実

青森大学ソフトウェア情報学部 特待制度

学力入試学業特待制度

入試選抜の成績優秀者に対し、授業料の免除または減免します。

a 授業料全額免除

授業料：0円
(減免額：980,000円)

対象者

大学入学共通テスト利用選抜(前期、中期、後期)および一般選抜(第Ⅰ期、第Ⅱ期、第Ⅲ期)の得点が概ね75%の方

b 授業料75%免除

授業料：245,000円
(減免額：735,000円)

対象者

大学入学共通テスト利用選抜(前期、中期、後期)および一般選抜(第Ⅰ期、第Ⅱ期、第Ⅲ期)の得点が成績上位者の若干名

c 授業料半額免除

授業料：490,000円
(減免額：490,000円)

対象者

大学入学共通テスト利用選抜(前期、中期、後期)および一般選抜(第Ⅰ期、第Ⅱ期、第Ⅲ期)合格者の成績上位者若干名

遠隔地特待制度

遠隔地の高等学校等の在籍者または現住所が青森県以外の方を対象に、青森大学の青森キャンパスまたはむつキャンパスへ進学する方に支援を行います。

入学金免除 + 授業料30%免除

200,000円(入学金) + 294,000円(授業料) 494,000円の免除(初年度)

対象者

■いずれかに該当する者

①在籍する高等学校、大学、短期大学、高等専門学校、専門高校、日本語学校の所在地が青森県以外とする。

※通信校に関しては本校の所在地となります。

②本人の現住所が青森県以外とする。(出願時)

NEW みらいチャレンジ応援制度

本学のソフトウェア情報学部に入学的意思がある方に対し、授業料を免除します。

授業料30%免除

授業料：686,000円(減免額：294,000円)

対象者

総合型選抜または学校推薦型選抜でソフトウェア情報学部を受験する方。

〈その他〉

総合型選抜・学校推薦型選抜で受験する方全員を対象としますので申請は不要です。

併用できる特待制度もございますので、入試課へご相談ください。

▼ 特待制度の詳細、他学部の情報につきましては、本学入試課へお気軽にご相談ください。▼

青森大学入試課

入試課直通：TEL：017-728-0102 E-mail:nyushi@aomori-u.ac.jp

ソフトウェア情報学部



2025年(令和7年)

12月号

発行
青森大学
広報室

〒030-0943

青森県青森市
幸畑2-3-1

TEL 017-738-2001

FAX 017-738-0143



青森大学ソフトウェア情報学部は、情報工学の専門的知識・技能を身につけ、自らの未来を切り拓く実践力を

備えた人間の養成を指して教育を行っている。本学の入学者選抜では、学業成績だけでなく、

多様な能力や意欲を持つ学生の学びを支援するため、さまざまな特待制度をそろえている。例年、年明けの入学者選抜でソフトウェア情報学部に入学的意欲

が、本学の特待制度を活用しており、経済的負担を軽減しながら学びをスタートさせている。今年度の新設された「みらいチャレンジ応援制度」をはじめ、今後も多様な形でソフトウェア情報学部を志願する高校生への支援を拡充していく予定だ。

校生のうち、3分の1以上が学力・学業特待制度を活用して入学している。また、青森県外から受験する高校生も多く、遠隔地特待制度を活用している。隣接する秋田県や岩手県をはじめ、宮城県や山形県出身の学生も多く在籍している。年明けの入学者選抜で入学する多くの学生

が、本学の特待制度を活用しており、経済的負担を軽減しながら学びをスタートさせている。今年度の新設された「みらいチャレンジ応援制度」をはじめ、今後も多様な形でソフトウェア情報学部を志願する高校生への支援を拡充していく予定だ。

遠隔地特待制度



ソフトウェア情報学部1年
出身：石巻高等学校
氏名：千葉 裕斗さん

特待生として選考いただき、経済的不安が軽減されたことで、教材購入や学習時間を確保しやすくなりました。今後将来につながる力を身につけたいです。

学力入試学業特待制度



ソフトウェア情報学部1年
出身：弘前南高等学校
氏名：尾崎 弥嵐さん

私は特待制度を利用して授業料を免除してもらっているのですが、より勉学に励みやすいです！プログラマーになる夢をかなえるため、実務に必要なスキルを学んでいます。



澁谷学長と青森山田 萬谷さん

青森大学は12月7日に高校生科学研究コンテストを大学構内で開いた。2013年から続いている同コンテストは今年度で13回目。参加校は毎年10校を超え、出場者は100人を上回る。

青森山田が初の最優秀賞

高校生科学研究コンテスト

研究・探求活動の成果を、発表できる貴重な場として定着しており、発表後には大学教授による講評が行われる点が大きな特徴だ。各種賞も設けられており、今年の最優秀賞には青森山田高校2年

の萬谷桜凜さんが選ばれた。テーマは「植物発電の効率を土壌視点で高める」だった。第1回から出場している青森山田高校は今回が初の最優秀賞となる。研究・探求活動は今後も各高校で続けられ、本学はこれからの活動に励む高校生を支えていきたいとしている。

10月14日、15日の2日間、千葉県の幕張メッセを会場に開かれた「CEATEC 2025」を見学した。3年生必修科目の「学外

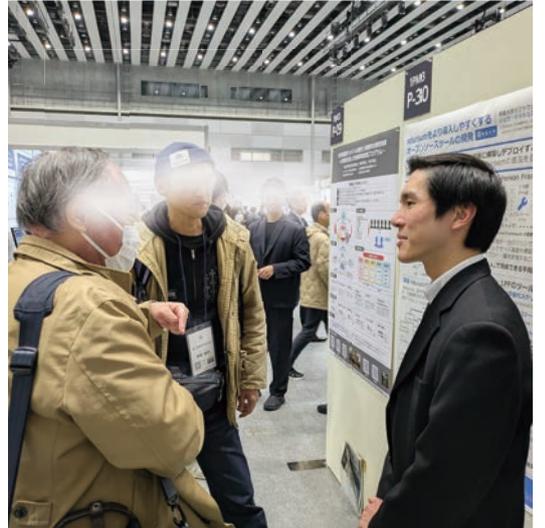
展示会を見学

実習」では毎年、国内で開催される情報関連の展示会に参加している。先端技術に触れることで最新の技術動向を学び、自身の学習や研究にいかすことができてくる。さらに情報分野の企業や業界の状況を知り、社会人としてのマナーや心構えも含めてこれからの就職活動やキャリアにつなげることを目的としている。

ソフトウェア 情報学部学生 学外イベントにも参加



3年生必修の「学外実習」で展示会へ



ポスター発表するジョシユアさん

青森・東京・むつのソフトウェア情報学部の学生56名が参加した。

地方大学DX加速

大学ICT推進協議会(AKES)の2025年度年次大会が12月13日に札幌コンベンションセンターで開催され、ソフトウェア情報学部4年のジョシユア・リユウ・リック・シャンさん(指導教員:下條真司教授)がポスター発表を行った。テーマは「eduroamをより導入しやすくするオープンソースツールの開発」であり、地方の大学におけるキャンパス無線LANの課題の解決に向けた、実践的な「One Person One Network」を提案した。

ゼロ円定食 量も味も最高です！



青森大学後援会は、物価高騰の影響を受けながら学業に励む学生を支援するため、「ゼロ円定食」を実施している。これまで100円定食など、低価格での食料提供を行ってきたが、無料での提供は初めて。初日の利用学生からは「とても嬉しい。量も味も最高で、また利用したい」といった声が寄せられている。

後援会安田一史会長は「頑張る全ての学生を応援したい。おおむね好評のようであり、おおい。後援会として学生に出来る応援をもっと考えていきたい」と語った。ゼロ円定食は2025年11月25日から2026年1月13日までの毎週火曜日、日替わりメニューを提供される予定だ。東大並みの対応している。